

令和7年 業種別労働災害発生状況
(令和8年1月末現在の速報値)

函館労働基準監督署

区分 業種別	令和7年(速報値)			令和6年(速報値)			対前年		業種・割合 (%)	令和6年(確定)			
	死 亡	休業 4 日 以 上	計	死 亡	休業 4 日 以 上	計	増 減 数	増 減 率 (%)		死 亡	休業 4 日 以 上	計	
全産業合計	7	615 (14)	622 (14)	6	732 (22)	738 (22)	-116	-15.7	100.0	7	782 (22)	789 (22)	
除く鉱業計	7	615 (14)	622 (14)	6	732 (22)	738 (22)	-116	-15.7	100.0	7	782 (22)	789 (22)	
製造業	1	107	108	1	119 (1)	120 (1)	-12	-10.0	17.4	1	123 (1)	124 (1)	
内訳	水産食料品		39	39		59	59	-20	-33.9	6.3		60	60
	他の食料品		23	23		23	23			3.7		25	25
	木材木製品・家具		9	9		7	7	2	28.6	1.4		7	7
	窯業土石製品		3	3		8 (1)	8 (1)	-5	-62.5	0.5		8 (1)	8 (1)
	金属・機械		13	13		4	4	9	225.0	2.1		4	4
	輸送用機械等	1	9	10		7	7	3	42.9	1.6		8	8
	その他		11	11	1	11	12	-1	-8.3	1.8	1	11	12
鉱業													
土石採取業			1	1		3 (1)	3 (1)	-2	-66.7	0.2		3 (1)	3 (1)
建設業	1	72 (1)	73 (1)	3	65	68	5	7.4	11.7	4	67	71	
内訳	土木工事業		36 (1)	36 (1)	1	26	27	9	33.3	5.8	1	27	28
	建築工事業	1	17	18	1	30	31	-13	-41.9	2.9	2	31	33
	木造建築業		13	13		7	7	6	85.7	2.1		7	7
	その他の建設業		6	6	1	2	3	3	100.0	1.0	1	2	3
道路貨物運送業		48 (4)	48 (4)		54 (3)	54 (3)	-6	-11.1	7.7		54 (3)	54 (3)	
その他の運輸		15 (1)	15 (1)		9 (1)	9 (1)	6	66.7	2.4		9 (1)	9 (1)	
陸上貨物取扱業					2	2	-2	-100.0			2	2	
港湾運送業			1	1		1	1			0.2		1	1
林業	3	10	13	1	7	8	5	62.5	2.1	1	7	8	
水産業		8	8		11	11	-3	-27.3	1.3		12	12	
卸売・小売業	1	79 (2)	80 (2)		71 (1)	71 (1)	9	12.7	12.9		75 (1)	75 (1)	
清掃業	1	28	29		28	28	1	3.6	4.7		29	29	
その他の事業		246 (6)	246 (6)	1	362 (15)	363 (15)	-117	-32.2	39.5	1	400 (15)	401 (15)	
内訳	保健衛生業		158	158		271 (1)	271 (1)	-113	-41.7	25.4		309 (1)	309 (1)
	接客娯楽業		40	40		27 (6)	27 (6)	13	48.1	6.4		27 (6)	27 (6)
	その他	48 (6)	48 (6)	1	64 (8)	65 (8)	-17	-26.2	7.7	1	64 (8)	65 (8)	
今月のコメント	1 労働災害の状況(令和7年発生分) 全産業の労働災害は622名で、前年の同時期に比べ、116名減少しています。事故の型別では、「転倒」が167名、「その他」が93名となっております。 2 令和8年1月受付分について 全体で36名の令和7年発生分の労働者死傷病報告を計上しました。業種別では多い順に、保健衛生業が14名、卸売・小売業が6名、その他が5名でした。 3 コメント 令和7年業種別労働災害発生状況は令和8年3月末までに受理した労働者死傷病報告を集計して確定しますので、本発生状況(令和8年1月末)は速報値です。												

本統計は労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したものです。()内は、交通事故による労働災害の内数です。

函館労働基準監督署の管轄は、渡島管内と檜山管内です。

令和7年 死亡労働災害発生状況

函館労働基準監督署

発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害発生概況
1 1	10時台	林業	激突され	伐木等機械	被災者は、チェーンソーと木材グラップル機との共同作業においてチェーンソーによる作業を担当し、被災者が受け口、追い口を作った立木を木材グラップル機が引き倒し、木寄せしたところ、木材グラップル機又はつかんでいた立木が被災者に激突したもの。
2 1	8時台	輸送用機械等製造業	墜落・転落	その他の乗物	被災者は、船舶の試運転業務において、アンテナにワイヤーが引っ掛かっていたため、マストの垂直はしごを登り、マストの踊り場へ移動して引っ掛かっていたワイヤーを外したところ、踊り場付近のレーダーアンテナが回転し、4.8メートル下の甲板まで墜落したもの。
3 2	13時台	ビルメンテナンス業	墜落・転落	脚立	被災者は高さ2.67メートルの廊下の天井の蛍光灯を交換するために高さ1.5メートルの脚立を使用して作業を行っていたところ脚立から墜落したもの。
4 3	11時台	林業	激突され	立木等	被災者は、チェーンソーを用いた伐倒作業の補助としてクサビを打つ作業を行っていたが、伐倒中の立木の元口が谷側にずり落ち、伐倒方向と逆方向に倒れたことから退避したところ、倒れた立木が伐倒木に当たり、退避していた被災者の方向にずれ、激突したもの。
5 3	11時台	林業	激突され	立木等	被災者がチェーンソーでの伐木作業をしていたところ、伐倒木の伐倒方向が変わり、近くに退避していた被災者に伐倒木が激突して死亡したもの。
6 7	2時台	新聞販売業	その他	その他の環境等	被災者は自転車で住宅街の新聞配達中、熊に襲われて草むらの中に引きずり込まれるのを目撃され、警察官らが草むらを捜索したところ倒れている被災者を発見したものです。 被災者の腹部にかまれた痕があったほか、全身に爪痕のような傷があり、現場で死亡が確認された。
7 12	8時台	建築工事業	はさまれ、巻き込まれ	建築物、構築物	折りたたみ式コンテナハウスの組立作業中、複数の作業員が壁兼床パネルを展開していたところ、壁兼床パネルを支えきれなくなりその展開範囲から退避した。一時的に作業場所を離脱していた被災者が走り寄り一人で壁兼床パネルを支えようとしたものの支えきれずに、倒れた壁兼床パネルと基礎コンクリートの間に挟まれ死亡したもの。

本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。